

# 3

## 基本計画

施策体系

I

II

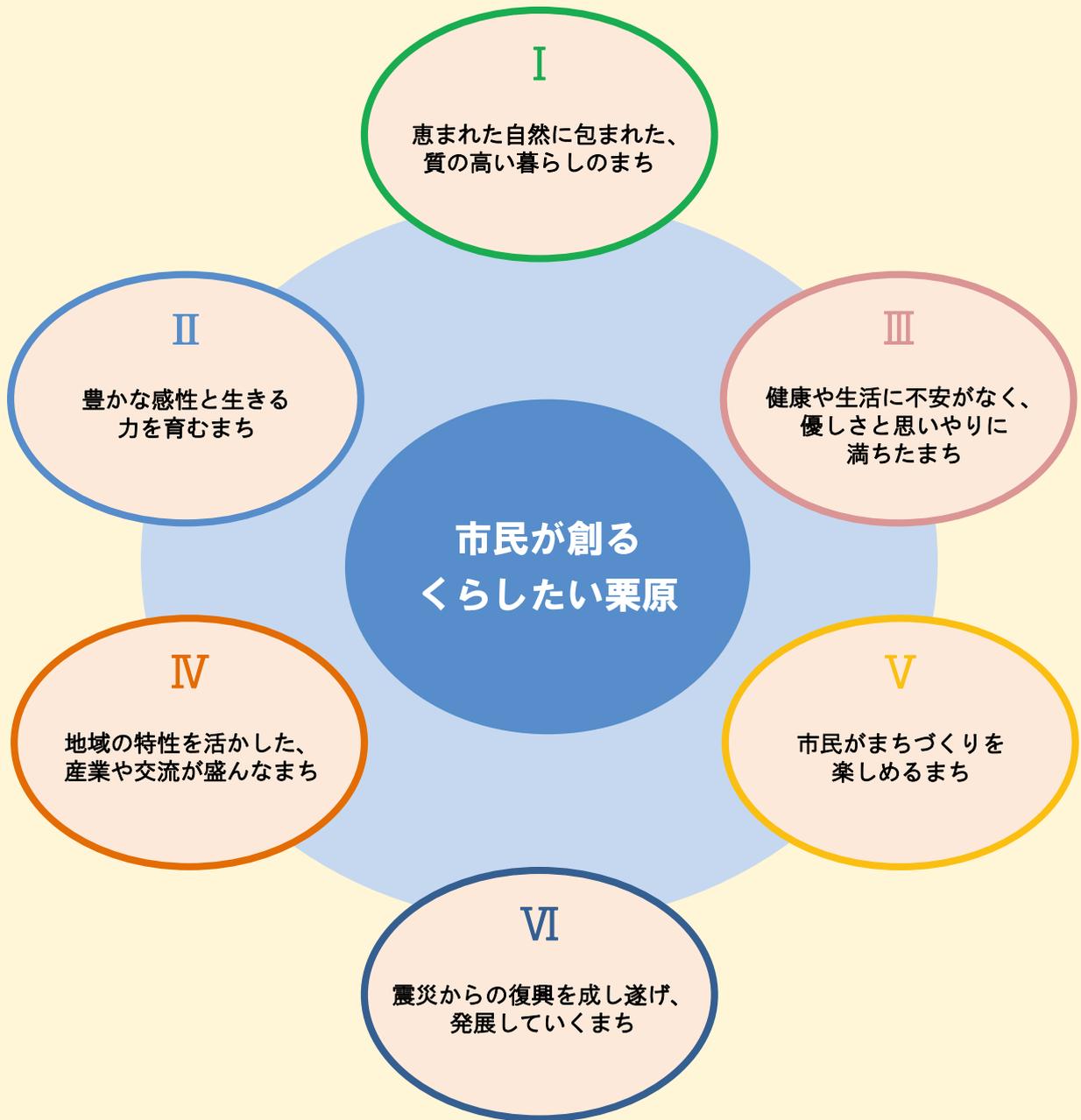
III

IV

V

VI

## [基本計画の概要]



# I

## 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために

方針 **1** 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

施策

- ① 地域の営みにより育まれてきた個性ある美しい景観を保全します。
- ② 豊かな自然に恵まれた魅力ある生活環境を創造します。
- ③ 市民の環境意識の高揚を図り、自然と共生する環境共生社会を目指します。

方針 **2** 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

施策

- ① 各地区の生活基盤の向上を図り、相互に繋がるクラスター型の生活拠点形成を目指します。
- ② 広い市内を安全で快適に移動できる交通環境を整備します。
- ③ 市民の誰もが享受できる、利便性の高い情報通信ネットワークの整備を促進します。

方針 **3** 安全・安心なまちづくりを推進します

施策

- ① 広く多様な地形の中で、自然災害に強い地域づくりを目指します。
- ② 防犯及び交通事故防止の視点に立った安全な地域づくりを目指します。
- ③ 市民・企業・行政の連携を図り、地域ぐるみの防犯・防災体制の確立を目指します。

## 施策 I-1-①

### 地域の営みにより育まれてきた個性ある美しい景観を保全します。

地域で育まれてきた、自然と集落が調和した美しい景観と街並みを維持していくため、森林、農地や緑地などの環境資源を市民とともに守り、活用していく取り組みを推進します。

#### 現状と課題

本市は、西部の山間地から東部の平野部まで、緑豊かな森林や肥沃な田園といった多様な自然環境の中に集落が散在しており、自然と集落が調和した美しい景観を創っています。

この美しい景観は地域の絶え間ない保全活動により保たれておりますが、高齢化や担い手不足などにより、将来にわたる持続的な保全活動をするための取り組みが求められます。

さらに、環境問題に対する関心の高まりから農林業においても、より環境保全に効果の高い取り組みが求められています。

#### 目標

豊かな森林環境や美しい田園風景を維持、保全します。

#### 具体的な取り組み

##### ● 環境保全に向けた営農活動の支援

農地、農業用水等の資源の保全と農村環境保全に向けた活動、環境保全効果の高い営農活動を支援します。

##### ● 中山間地域での営農活動への支援

中山間地域の農村が持っている水源涵養かんよう(※注)、生態系の保全等の多様な機能を確保するための営農活動を支援します。

※注「水源涵養」とは…森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能や雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される機能

##### ● 森林の健全な育成の推進

水源涵養機能や二酸化炭素吸収機能等、森林の持つ公益的機能の向上を図るための間伐事業等の活動を支援します。

## 施策 I-1-②

### 豊かな自然に恵まれた魅力ある生活環境を創造します。

市民が豊かな自然を享受した質の高い生活をおくることができる生活環境づくりを推進します。

#### 現状と課題

これまで、豊かな自然を活かした公園などの整備により、市民の健康増進や憩いを実感できる空間の提供を行ってきました。

身近に自然を楽しむことができ、心地良い充実した生活をおくれることを認識し、自然と共生した魅力ある生活環境を実感できる施策を、引き続き推進することが求められます。

#### 目標

豊かな自然を活かし、心地よい充実した生活をおくれることを目指します。

#### 具体的な取り組み

- **住みやすい生活環境整備**  
恵まれた自然を活かした、質の高い安心して楽しめる環境整備を推進します。
- **市民が集い憩いを実感できる空間の整備**  
市民が安らぎや潤いを実感できる生活環境を整備します。

## 施策 I-1-③

### 市民の環境意識の高揚を図り、自然と共生する環境共生社会を目指します。

恵まれた自然環境を次世代へ継承していくために、身のまわりの住環境から地球環境規模の環境問題まで幅広く対応した環境基本計画を策定し、自然の保護やリサイクルに対する市民意識のさらなる向上を図り、自然環境と共生した地域づくりを全市一体となって推進します。

### 現状と課題

これまで、ごみの分別収集の周知徹底により、ごみの減量化、再資源化による循環型社会の形成に努めてきました。

しかし、本市のごみの分別収集の資源化率は全国や宮城県の平均値を下回っており、一層の分別収集の周知徹底による、資源化率の向上やごみの減量化を図り、資源循環型社会の構築が求められています。

また、エネルギー安定供給の確保、地球温暖化防止対策など市民の再生可能エネルギーへの関心が高まる中、生活に身近な太陽光発電システムや省エネ設備など、一般家庭への普及促進のさらなる支援が求められています。

### 目標

資源循環の推進により、自然環境への負荷低減を実践し、地球に優しい生活環境を目指します。

### 具体的な取り組み

#### ● 環境保全への取り組み

なお一層の分別収集の周知徹底を図り、廃棄物の効率的な処理を推進します。

#### ● 廃棄物リサイクルシステムの構築

資源循環型社会を構築するための「5R」(\*注)を強力に推進します。

\*注「5R」とは…「リデュース(ゴミを減らす)、リユース(そのまま再利用する)、リサイクル(再資源化する)、リフューズ(不要なものは買わない)、リペア(修理しながら使う)」という循環型社会の形成に必要な行動指針を表したもの。

#### ● 再生可能エネルギーの導入・利活用推進

自然と共生する環境共生社会を実現するため、再生可能エネルギーの導入を促進し、その活用を積極的に支援します。

## 施策 I-2-①

### 各地区の生活基盤の向上を図り、相互に繋がる クラスター型の生活拠点形成を目指します。

市民の暮らしを豊かなものにするために、その生活の基礎となる住環境の整備や自然環境を保全しながら、クラスター型の生活拠点形成を推進します。

#### 現状と課題

本市はそれぞれの地区の個性を活かした、クラスター型の田園都市構造を有しています。これまで、水道施設の改修、公共下水道などの整備、老朽化した市営住宅の建替えなどに取り組みましたが、安定した水道水の供給、公共下水道などの水洗化率の向上などが課題となっています。

住環境などの生活基盤を広域的かつ効率的な整備の推進により、地区間の連携が強化された生活拠点の形成が求められています。

#### 目標

地区の個性を活かした生活拠点を形成するため、  
その基盤となる社会資本の整備を推進します。

#### 具体的な取り組み

- **安心して暮らせる水道水の供給**  
安全・安心な水道水を安定供給するため、浄水場相互の連絡管整備など、配水体系の強化を図ります。
- **安心して暮らせる水環境の保全**  
水環境を保全するため、水洗化の促進と汚水処理施設の整備を推進します。
- **計画的な街並みの形成**  
街路、住宅等の整備を計画的に推進します。

## 施策 I-2-②

### 広い市内を安全で快適に移動できる交通環境を整備します。

県内一の面積を誇る栗原市で、市内はもとより市外への移動も容易に可能となり、クラスター型に繋がる各地区を、子どもから高齢者までのあらゆる市民が、安全で快適に移動でき、日常生活や産業振興などにも活用される利便性の高い交通ネットワークを整備します。

#### 現状と課題

本市は県内で最も大きな面積を有しております。これまで、安全な市民生活のための道路や地区間を結ぶ道路網、主要幹線網、都市計画街路整備などに取り組みましたが、計画路線の見直しが課題となっています。今後は緊急時に対応できる路線や広域的に安全で快適に移動できる道路網の整備が必要です。

また、市民バスなどの公共交通機関は、今後も交通空白地帯の解消や利用実態に合わせた運行に取り組み、利便性の高い公共交通体系の構築が求められています。

#### 目標

広域な市内を安全で移動しやすい、効率的な交通環境を目指します。

#### 具体的な取り組み

- **安全な交通網の整備**  
子供から高齢者までが安全で快適に移動できるよう、道路や歩道の整備を推進します。
- **クラスター型に点在する各地区が繋がる道路整備**  
市内の各地区を結ぶ道路網の整備を推進します。
- **都市計画に基づいた道路整備**  
都市計画の見直しを行いながら、道路整備を推進します。
- **地域間の連携・交流を促進する道路整備**  
都市・地域間における安全で円滑な交通の確保を図ります。
- **公共交通手段の確保**  
誰もが利用しやすい、効率的な公共交通体系を構築します。

## 施策 I-2-③

### 市民の誰もが享受できる、利便性の高い 情報通信ネットワークの整備を促進します。

市民の誰もが情報通信網を利用し情報社会の恩恵を享受できるように、情報通信ネットワークの整備を促進していきます。

#### 現状と課題

市内には、テレビ放送の地上デジタル化に伴う難視聴地域や携帯電話の不感地域が内在することから、情報通信格差を解消するための取り組みが求められています。

また、光ファイバ幹線網の整備完了に伴い、インターネットを活用した各種申請や届出ができる電子自治体のさらなる普及、促進に向けた取り組みが求められています。

#### 目標

情報通信ネットワークを活用し、利便性の高い生活環境を目指します。

#### 具体的な取り組み

- **携帯電話使用可能地域の拡大**  
携帯電話使用可能地域を拡大するため、移動通信用施設の整備を推進します。
- **テレビ放送視聴可能地域の拡大**  
地上デジタル放送難視聴地域を解消するための対策を、早急に推進します。
- **電子自治体の推進**  
インターネットを活用した各種申請・届出等の環境整備を推進します。

## 施策 I-3-①

### 広く多様な地形の中で、自然災害に強い地域づくりを目指します。

県内で最も大きな面積を持つ栗原市は、険しい山間部から中山間部、平野部に広がる多様な地形を内在しています。このような地形が、時としてもたらす自然災害に対して、市域全体の総合的な防災の向上を図る整備を推進します。

### 現状と課題

本市は、山間部から平野部に連なり、山や川などの多様な地形が存在しています。これまで、土砂災害を未然に防止する急傾斜地対策、橋梁の修繕による長寿命化対策や市民による直接的な耐震改修工事への助成などに取り組みました。

近年、大きな自然災害が発生していることから、さらなる防災基盤の整備、道路・橋梁・河川など社会資本の整備計画見直しや市民の防災体制への支援を図り、災害に強い地域づくりが求められています。

### 目標

防災基盤の整備や市民の防災体制の強化に取り組みます。

### 具体的な取り組み

#### ● 自然災害に備えた環境整備

大雨、洪水、土砂災害等から市民生活を守る環境整備を図ります。

#### ● 災害に強いまちづくり

社会資本整備を促進して、災害に強いまちづくりを促進します。

#### ● 大規模地震に備えた安全確保

大規模な地震に備え、防災点検を実施し、橋梁、トンネル、斜面等の耐震改修工事及び市民が行う耐震診断・耐震改修工事や危険ブロック塀撤去等の震災対策を支援します。

#### ● 市民の防災意識の啓発・向上

自主防災組織への支援や訓練などにより、いつ起こるか分からない災害に備えるとともに、市民の防災に対する関心を高め、防災意識の向上に努めます。

## 施策 I-3-②

### 防犯及び交通事故防止の視点に立った安全な地域づくりを目指します。

都市部に限らず地方でも、市民の安全な生活を脅かす重大な交通事故や犯罪が発生する現代社会において、市民が被害に遭わずに安心して生活をおくることができるように、交通安全の徹底や防犯環境の整備を目指し、市民への様々な啓発や広報活動、地域の防犯組織への支援などを推進します。

### 現状と課題

本市は、地域ぐるみによる交通安全運動や防犯活動などにより、交通事故や事件の減少に努めているところです。

しかし、全国的に子どもや高齢者が巻き込まれる痛ましい交通事故や事件が発生していることから、今後も、安全で安心な地域づくりのため、警察、各団体と連携し、広報活動や交通安全施設、防犯灯の整備が求められています。

### 目標

事件・事故が発生しないような環境づくりに、地域ぐるみで取り組みます。

### 具体的な取り組み

- **道路通行の安全確保**  
道路通行時の事故を予防するため、交通安全施設の整備を推進します。
- **安心した生活がおくれるまちづくり**  
市民の安全を確保する環境整備を推進します。
- **防犯に関する情報の提供**  
市民の安心感が高まるように適切な情報の提供を推進します。
- **防犯組織体制の整備**  
防犯組織体制の整備と活動促進の支援を図ります。

## 施策 I-3-③

### 市民・企業・行政の連携を図り、地域ぐるみの 防犯・防災体制の確立を目指します。

自らの安全は自ら守る自助と、地域の安全を地域ぐるみで守る共助の意識を醸成しながら、さらに民間事業者の社会貢献活動などとの連携を図って、市民、企業、行政が一体となった地域防犯・防災活動の仕組みを構築します。

#### 現状と課題

これまで、消防施設の再編、緊急車両の整備、防災行政無線のデジタル化などにより、地域における隔たりのない防災体制と市民の財産と安全を守る体制の強化に努めました。

また、消防団は、平常時・非常時を問わず地域に密着し、消火活動をはじめ、災害時には住民の避難誘導や災害防ぎょなど地域防災に大きな役割を果たしております。

しかし、消防団員の高齢化に伴い退団する一方で、人口の減少や被雇用者の増加など社会環境の変化により、新たな団員の確保が課題となっております。団員数の減少は地域の防災力の低下に繋がることから、今後も団員の確保に努めるとともに、消防施設・設備等の充実を図りながら、地域と警察、消防などが連携し、防災力を高めることが求められます。

#### 目標

防災意識の高揚を図り、自助・共助・公助の精神により家庭・地域や  
企業・行政が連携し、一体となり助け合う防災体制の強化を目指します。

#### 具体的な取り組み

- **災害時に備える体制整備**  
消防団員の確保や消防施設・設備、緊急車両の整備と併せて、災害時に備えた備蓄や避難所の整備を推進します。
- **市民への防災情報の提供**  
防災行政無線難聴世帯の解消など、市民への迅速な防災情報の伝達を図ります。
- **地域の自主防災組織を育成**  
自主防災組織の組織力の向上を図り、災害発生時に組織が各々の地域において有効な活動を速やかに取り組めるように、各種研修会や防災訓練等による育成に努め、市民による防災力の向上を図ります。
- **消防団、交通安全指導員、自主防災組織の連携強化**  
防災知識の普及、連携強化に向けた総合防災訓練の実施に取り組みます。
- **市民への救急講習の普及**  
市民及び小中学生に対し応急手当の普及を行い、救命率の向上を目指します。

# II

## 豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために

### 方針 1 次代を担うたくましい子どもを育成します

#### 施策

- ① 高度な教育への挑戦を可能とし、国際的視野を持った人材を育てる、教育力の向上に取り組みます。
- ② 遊びの機会を通じた自然とのふれあいにより地域への愛情を育て、強く生きる力を養います。
- ③ 安全で楽しい施設の整備を図りながら、地域ぐるみで子どもを育てる教育の確立に取り組みます。

### 方針 2 人生を楽しむための実践機会を充実します

#### 施策

- ① 市民による多様な文化芸術活動を支援します。
- ② 市民が自主的にスポーツや生涯学習を楽しめる環境を整備します。
- ③ 豊かな人生をおくるため、様々な自己実現を目指す学習機会を提供します。

### 方針 3 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

#### 施策

- ① 地域の歴史や文化を大切にして次代に守り伝えます。
- ② 地域に根ざした伝統芸能を守り、次の世代への継承を支援します。
- ③ 栗原の歴史遺産である文化財を保護・保存して、その活用を図ります。

## 施策 Ⅱ-1-①

**高度な教育への挑戦を可能とし、国際的視野を持った人材を育てる、  
教育力の向上に取り組みます。**

より高い目標に挑戦し、粘り強く問題の解決に取り組む子どもの育成に努めます。また、広い視野と豊かな創造性を持ち、主体的に社会参加できる人材の育成を図ります。

### 現状と課題

これからの社会は、今まで以上に情報化、国際化、価値観の多様化などが進み、子どもたち一人一人の主体的な学びや、他との協調・連携が求められています。

そのためには、本市の次代を担う人材育成の観点からも自ら学び、自ら考える「生きる力」を培うとともに、小学校からの英語活動を継続・充実し、国際的視野に立って社会をリードする資質・能力の育成に努める必要があります。

### 目標

**確かな学力を育むために、子どもたち一人一人の良さや可能性を伸ばし、個性を活かすきめ細かな教育の推進を図ります。  
また、国際的視野を持ち、地域の発展に寄与できる人材の育成を目指します。**

### 具体的な取り組み

#### ● 栗原市確かな学力・輝きプランの推進

学力向上に向け、授業改善や家庭学習の確立を図ります。

#### ● 小・中学校活性化プランの推進

補助教員等を配置し、よりきめ細やかな学習指導、生活指導を行います。

#### ● 国際理解の教育の充実

小学校からの英語活動教育や国際交流事業を充実し、国際感覚を持つ人材育成を図ります。

#### ● きめ細かな教育の充実

定員35人学級の実現を図ります。

## 施策 Ⅱ-1-②

**遊びの機会を通じた自然とのふれあいにより地域への愛情を育て、  
強く生きる力を養います。**

豊かな自然とふれあう機会を拡充し、「遊び」を積極的に取り入れた自然体験を通して『強く生きる力』を育てます。

### 現状と課題

豊かな感性と生きる力を育むためにも、本市の恵まれた自然を活かした体験的な活動の充実が求められています。また、体験や交流を通じ、地域の人や行事等とのかかわりの大切さを学び、実感させることが重要です。そこで得た知識や考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組み、自らを高め、将来の生き方を考えられるような学習の充実が求められています。

### 目標

**自然とふれあう機会を充実して、豊かな心を持ち主体的に行動できる、  
たくましく生きる人材を育てます。**

### 具体的な取り組み

- **自然体験プログラムの充実**  
栗原の自然を活かした体験学習を充実し、多くの子どもたちが参加できる学習機会の提供を図ります。
- **栗原らしい総合的な学習の推進**  
自然の体験、社会体験、職場体験、地域交流等実体験に基づいた学習を推進します。

## 施策 II-1-③

### 安全で楽しい施設の整備を図りながら、 地域ぐるみで子どもを育てる教育の確立に取り組みます。

安全で楽しさが実感できる教育施設の整備を図るとともに、学校・家庭・地域社会が連携して子どもを見守り育てていく地域の教育の確立に努めます。

#### 現状と課題

子どもたちを取り巻く教育環境は社会情勢により大きく変化しており、少子化傾向による児童生徒数の減少は、著しい学校の小規模校化を招いています。このような中、子どもたちの健やかな成長のために、子どもたちが学ぶ学校教育環境として、学校の適正規模、適正配置を図り、学校再編と合わせた施設整備や幼稚園3年保育の実現に向けた施設整備を図るなど、子どもたちが安心して楽しく学べる学習環境を整備する必要があります。

また、家庭や地域社会の協力が不可欠であり、学校、家庭、地域社会が一体となり子どもたちを見守り育てていく必要があります。

#### 目標

教育施設及び学校教育環境の適正規模・適正配置による充実と  
地域ぐるみでの教育の確立に取り組みます。

#### 具体的な取り組み

- **学校再編計画の推進**  
学校再編の実現に向けて、地区学校再編準備委員会の確実な運営、再編に伴い必要な施設整備などを推進します。
- **幼稚園3年保育の推進**  
幼稚園再編に合わせた施設整備及び幼保一元化施設整備に取り組み、幼稚園3年保育の早期実現を目指します。
- **教育施設等の整備・支援**  
学校教育施設等の適正規模・適正配置を図りながら、安心して学習に取り組める環境整備を推進し、さらに震災等に備えた地域の防災拠点としての機能整備を図ります。
- **信頼される学校づくりの推進**  
学校評議員制等の積極的な活用により開かれた学校経営・運営を推進します。
- **児童生徒の安全確保**  
地域との連携を強化し、児童生徒の安全確保を図ります。
- **協働教育の推進**  
子どもを地域全体で育てるために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じて、家庭・地域の教育力の向上を図ります。

## 施策 II-2-①

### 市民による多様な文化芸術活動を支援します。

誰もが、どこでも、文化芸術に親しみ、感動の機会にふれることができる環境の整備に努めるとともに、市民が進んで参加し創造する文化活動の充実に努めます。

#### 現状と課題

人生を楽しみ生きがいにあふれた豊かで潤いのある暮らしの実現のため、文化芸術の振興が求められています。そのためにも、活動の拠点となっている既存施設の有効活用をはじめ、魅力ある優れた文化芸術の鑑賞機会等の充実に努める必要があります。

#### 目標

文化芸術に触れ、創造的な文化活動を推進するための取り組みを拡充します。

#### 具体的な取り組み

- **文化芸術鑑賞機会の充実**  
幅広いジャンルの文化芸術鑑賞・発表機会の提供を図ります。
- **文化芸術活動の支援**  
文化芸術活動の奨励と支援の強化を図ります。
- **文化施設の活用と環境整備**  
文化芸術活動の拠点として活用するため、施設の環境整備を図ります。

## 施策 II-2-②

### 市民が自主的にスポーツや生涯学習を楽しむ環境を整備します。

人と人のつながりを大切にした、学習機会の充実に努め、市民があらゆる機会と場所を利用して、スポーツを楽しんだり、自ら生活に即した文化的教養を高めたりしていけるような環境づくりに努めます。

#### 現状と課題

趣味やスポーツ、文化活動を通して自己を高め、交流の輪を広げ、人生をより豊かなものにしていくことが求められています。そのためにも、多種、多様な学習機会を提供し、いつでも、誰でも気軽に学べる環境の整備に努め、スポーツの普及と生涯学習の振興を図る必要があります。

#### 目標

市民に親しまれ、利用される社会教育・社会体育施設の充実と、学習活動の支援を進めます。

#### 具体的な取り組み

- **社会教育施設・社会体育施設の充実**  
市民の生涯学習やスポーツ活動を支援するため、社会教育施設や社会体育施設の充実を図ります。
- **学習機会の提供と内容の充実**  
いつでも、どこでも、誰もが学べる環境を提供し、社会教育や社会体育事業の充実を図ります。
- **生涯学習活動への支援**  
地域住民と教育センターが連携し、住民の自主的・主体的な生涯学習活動に向け支援を行います。
- **生涯スポーツの推進**  
体育協会等の関係団体と連携し、市民が生涯にわたり自主的に行える生涯スポーツを推進します。

## 施策 II-2-③

**豊かな人生をおくるため、様々な自己実現を目指す学習機会を提供します。**

市民一人一人が生涯にわたり学び続けることを通して、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性を育み、新しい知識や能力を主体的に獲得していけるよう支援します。

### 現状と課題

市民一人一人が自己実現を図り、生きがいを感じて人生を楽しむために、いつでもどこでも学べる学習機会の提供、充実が求められています。

そのためには、多様な学習ニーズに対応した学習内容を工夫し、さらには、単なる余暇活動としてではなく、生涯設計の一環として、積極的に参加できるような学習環境の整備を図る必要があります。

### 目標

**主体的学習意欲を持った市民の育成を図るため、  
多様な学習ニーズに対応した事業を継続的に推進します。**

#### 具体的な取り組み

- **学習成果の活用促進**  
次代の担い手となる青年の育成とネットワーク化を目指し、身に付けた知識・技術の活用を支援します。
- **学習機会情報の提供**  
学習機会情報の提供と支援体制の強化を図ります。
- **専門的学習機会の充実**  
高度化、専門化した市民の学習ニーズに対応するため、各教育センターでの学習相談体制の充実を図り、学習情報提供や計画の立案、学習プログラムの作成等について指導支援を行います。

## 施策 II-3-①

### 地域の歴史や文化を大切に次代に守り伝えます。

身近にある歴史や文化、地域の個性ある風土を理解する機会を提供し、市民一人一人が広めていくことで郷土意識の醸成を図り、次世代へ大切に守り伝えていきます。

#### 現状と課題

それぞれの地域には古くから伝わる伝統、文化などがあり、それぞれの地域の個性を形づくっています。このように貴重な郷土の遺産を、市民の共有財産として、保護・継承し、正しい理解と意識啓発を図るため継続的な文化財の維持管理と、市民が子どもの頃から歴史に触れ、学ぶ機会の充実が必要とされています。

#### 目標

地域に伝わる歴史や文化に対する理解を深め、  
継承するための事業を拡充します。

#### 具体的な取り組み

- **歴史や文化を学ぶ機会の充実**  
学校などと連携して、子どもたちが自分の住んでいる地域の歴史や文化への理解を深め、愛着を持てる教育に取り組むとともに、市民が歴史に触れ、学習する機会の充実を図ります。
- **歴史や文化の継承支援**  
地域の歴史や文化を継承するために必要な支援をします。

## 施策 II-3-②

### 地域に根ざした伝統芸能を守り、次の世代への継承を支援します。

これまで守り継がれてきた地域の民俗芸能や伝統技術を保存・継承するため、担い手の育成や普及啓発活動に対する支援を行います。

#### 現状と課題

本市には、国や県から指定されているものを含め多くの民俗芸能や伝統技術が継承されており、本市の大切な文化として保存・継承することが求められています。

しかし、各保存団体などでは、構成員の高齢化や後継者不足が進行していることから、伝統・文化を継承する担い手の育成に努めるとともに、伝統行事や伝統芸能の保護・振興を図る必要があります。

#### 目標

伝統文化活動の普及啓発と、担い手育成に向けた取り組みを推進します。

#### 具体的な取り組み

##### ● 伝統文化活動の継承支援

伝統文化の保存伝承を図るため、人材育成と後継者の育成を支援します。

##### ● 普及啓発活動

民俗芸能や伝統技術に親しむ機会の提供を図ります。

## 施策 II-3-③

### 栗原の歴史遺産である文化財を保護・保存して、その活用を図ります。

栗原の歴史遺産である文化財を、市民共有の財産として大切に保護・保存し、その活用を推進します。

#### 現状と課題

本市には、国指定の有形文化財や記念物をはじめ、多くの文化財があります。これらの文化財は、先人の残した貴重な遺産であるとともに、長い間この土地の人々によって守られながら現在に引き継がれてきた文化的遺産であり、本市の豊かな歴史・文化を象徴しています。こうした文化財に対する市民意識の啓発を図るとともに、適切な保護・保存を行い活用していくことが求められています。

#### 目標

文化財の保護・保存と活用を図るために、計画的な事業の展開を目指します。

#### 具体的な取り組み

- **文化財の保護・保存と活用**  
文化財の調査研究を実施し、文化財の保護・保存の支援と、保存活用に必要な事業を展開します。
- **文化財保護の意識啓発**  
文化財に対する意識の向上を図ります。